

十勝川水系自然再生検討会（第3回） 議事要旨

■日 時：令和5年8月31日（木）15：40～17：15

■場 所：帯広第2地方合同庁舎 共用会議室1～3

■出席者：

（委員）中村委員長、赤坂委員、石原委員、大串委員、柿沼委員、根岸委員、森委員、柳川委員、山岡委員、渡邊委員（以上10名、泉委員、卜部委員は欠席）

※委員長以降の順は五十音順

（オブザーバー）中村氏

■議題

- （1）第2回の議事内容の確認
- （2）官民連携のグリーンインフラを活用した流域ガバナンス
（リバーフロント研究所 主席研究員 中村圭吾氏）
- （3）十勝川水系自然再生基本計画（原案）骨子について
- （4）意見交換

■議事要旨

- （1）第2回の議事内容の確認
第2回十勝川水系自然再生検討会（令和5年6月15日）の議事内容について事務局から説明した。質疑応答については(4)意見交換に集約された。
- （2）官民連携のグリーンインフラを活用した流域ガバナンス
リバーフロント研究所主席研究員である中村圭吾氏より、「官民連携のグリーンインフラを活用した流域ガバナンス」と題し、河川行政と民間連携、民間資金等のファイナンス手法の事例紹介を行った。質疑応答については(4)意見交換に集約された。
- （3）十勝川水系自然再生基本計画（原案）骨子について
十勝川水系自然再生基本計画（原案）骨子について事務局から説明した。質疑応答については(4)意見交換に集約された。
- （4）意見交換
検討会前に開催された現地視察会を含め、(1)～(3)に対する意見交換を行った。十勝川水系自然再生基本計画（原案）骨子について事務局から説明した。これに対し、委員から以下の発言があった。

■自然再生のランドデザインに関する意見

- ・十勝川全体のランドデザインが示されていないと事業のイメージがつきにくい

ため、まずはランドデザインの共有をしてほしい（委員）

- ・自然再生で実施することをもう少し具体的に、鳥類の休息場をつくるなどの目的とセットで示してほしい。（委員）
- ・地理情動的なものをしっかりと描き、流域全体のランドデザインを描いてほしい。ワークショップを実施するとよいのではないか。（委員長）
→ご意見をうかがい、ランドデザインを整理したい。（事務局）
- ・湿地やエコトーンやワンドにどういった生き物が関わっているかということを考える必要がある。対象とする種はどうしたらいいか十勝川の特性を踏まえて考えていきたい。（委員）

■検討会の位置付けに関する意見

- ・本検討会における議題を明確にしてほしい。（委員）
→本検討会では自然再生のビジョンや基本計画を作成し、具体的内容は技術検討会や地域連携委員会にて議論いただくことを考えている。（事務局）

■官民連携に関する意見

- ・民間企業の立場から、どのような連携が出来るのかを考えていきたい。（委員）
- ・十勝管内では既にいろいろな連携が行われており、全国事例を取り込んでいけるとよいのではないか。（委員）
- ・十勝川の相生中島地区は、まさに官民連携で事業を実施した箇所である。手弁当で進めているため、今後どのような官民連携のパターンを作っていけるかが大事だと思う。（委員）
→紹介いただいた官民連携の事例は積極的に取り込んでいきたい。（事務局）
- ・投資家から理解されるよう、回復したらどうなるのかということ具体的にできるとよい。波及効果についてはさらに深めて記載できるとよい。（委員）
- ・企業との連携に際し、自然再生事業のイメージを共有することが重要となる。（オブザーバー）

■十勝川水系自然再生基本計画（原案）骨子に関する意見

- ・基本計画に改修や今後行われる維持管理の項目を追加すると、十勝川をどうしていきたいかが明確になると思われる。（委員）

以 上